

寄宿舎

寄宿舎とは、児童・生徒が基本的な生活習慣を身につけるとともに、みんなで協力・みんなで助け合い・みんなで育ち合う「生きる力」を豊かにするところです。寄宿舎では、楽しい社会生活が送れるように、自主的な日課活動や集団生活の経験を通して規則や協力する心を学んでいます。また、舎生一人ひとりの意見を反映した係活動・学習会・行事等を通して豊かな生活を目指しながら、社会的なルールやマナーを身につけていきます。



▲心と体の学習会



▲避難訓練



▲クリスマス会

卒業生の進路

	一般就労	福祉事業所	その他	計
令和元年度	9	8	1	18
令和2年度	2	6	3	11
令和3年度	3	6	2	11
令和4年度	3	6	0	9
令和5年度	2	7	0	9
令和6年度	1	2	3	6

令和7年4月8日現在

幼児児童生徒数

	幼	小	中	高	計
男	2	28	12	18	60
女	0	19	7	10	36
計	2	47	19	28	96

寄宿舎入舎生数

	小	中	高	計
男	2	6	5	13
女	1	3	2	6
計	3	9	7	19

職員数

	校長	教頭	事務長	教諭	養護教諭	看護師	事務職員	図書司書	舎指導員	実習助手	栄養職員	用務員	介助員	支援員	教務業務	合計
男	1	1	1	24			1		6	1		1		1		38
女				30	1	5	2	1	6	1	1	1	4			51
計	1	1	1	54	1	5	3	1	12	2	1	2	4	1		89

※非常勤を含む

学校案内図



<所要時間> 宮古空港から車で約20分

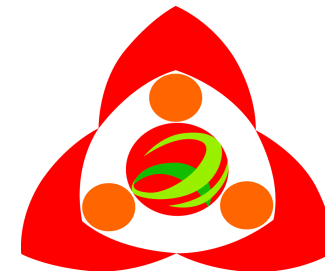
教育相談

保護者、学校や教育機関からの申し込みによって、就学・教育相談及び授業参観、体験学習などを随時行っています。お気軽にお電話ください。

TEL (0980) 72-5117

令和7年度

学校案内



「元気・笑顔・自立」

令和8年 創立50周年



沖縄県立宮古特別支援学校

〒906-0002

沖縄県宮古島市平良字狩俣4005-1

TEL (0980) 72-5117

FAX (0980) 72-5320

E-mail school@miyako-sh.open.ed.jp

ホームページ <http://www.miyako-sh.open.ed.jp>

学校教育の基本構想

○本県の目指す教育の姿

1 基本的な考え方

- ・個性の尊重を基本とし、国及び郷土の自然と文化に誇りをもち、創造性・国際性に富む人材の育成と生涯学習の振興を図る。

2 教育の目標

自ら学ぶ意欲を育て、学力の向上を目指すとともに、豊かな表現力とねばり強さをもつ幼児児童生徒を育成する。

平和で安らぎと活力ある社会の形成者として、郷土の文化の継承・発展に寄与し、国際社会・情報社会等で活躍する心身ともに健全な県民を育成する。

学校・家庭・地域社会の相互の連携及び協力のもとに、時代の変化に対応し得る教育の方法を追究し、生涯学習社会の実現を図る。

※沖縄県教育振興基本計画より
(令和4年度～13年度)

学校教育目標 (スクールミッション)

○自立と社会参加の実現に必要な知識技能及び態度や意欲の育成。

○明るく、素直でたくましく、主体的に活動できる幼児児童生徒の育成。

— 校訓 「元気・笑顔・自立」 —

めざす幼児児童生徒像

- 健康で明るく、たくましい幼児児童生徒
- 自分のことは自分でする幼児児童生徒
- 心豊かで思いやりのある幼児児童生徒
- よく考え自ら学び行動する幼児児童生徒
- 夢や希望に向かってがんばる幼児児童生徒

幼稚部

幼稚部では、幼児の自発的な活動としての「遊び」を中心とした環境の中で、「健康」「人間関係」「環境」「言語」「表現」の5領域と「自立活動」を通して、心身の調和的発達をめざした取り組みをしています。また、ご家庭と連携し、幼児一人一人の特性や発達の課題を考慮した教育の充実を図るために、一定期間の保育参加を行っています。



▲音楽遊び



▲自立活動（課題別学習）

小学部

小学部では、将来の生活の基盤となる生活のリズムや基本的な生活習慣の形成を大切にしています。

各教科・自立活動の学習においては、児童の実態、学習段階に応じて個別学習・グループ学習等を編成して学習に取り組んでいます。さらに、豊かな人間性や社会性を育成するために、学校間交流、体験学習を取り入れています。

これらの経験を通して、周りの環境や人とのやりとりなど、色々なことに気づき、周囲と段階的に取り組むことができるよう目指しています。



▲教科学習の様子（図工）



▲個別の自立活動

中学部

中学部では、小学部段階で積み重ねてきた力をさらに発展させ、高等部進学につなげる学習活動に取り組んでいます。

授業では教科担任制が始まり、習熟度別の学習グループを編成し、学習に取り組んでいます。

また、交流学习や校外学習、校内就業体験や販売学習会などを取り入れ、実際の生活につながる内容を学習活動の柱としています。



◀狩俣中との交流学习



校内販売学習会▶

▼中文祭舞台発表(マティダ市民劇場)



高等部

高等部では、社会参加・自立を目標に、働く力を身に付ける職業を中心に教育活動を展開しています。

主な行事としては、1学期（前期就業体験）、2学期（後期就業体験）、3学期（販売学習会）等があります。

職業は、農耕園芸・ものづくり・あばらぎの3つのグループがあり、学年の枠を超えて学習しています。これらの学習は、就業体験や進路指導で活かされ、進路決定率の向上へとつながっています。

作業学習の様子



▲ものづくり



▲農耕園芸



▲あばらぎ